

4．トラブルとその対応事例

4－1．発生が想定される軽微なトラブル事例

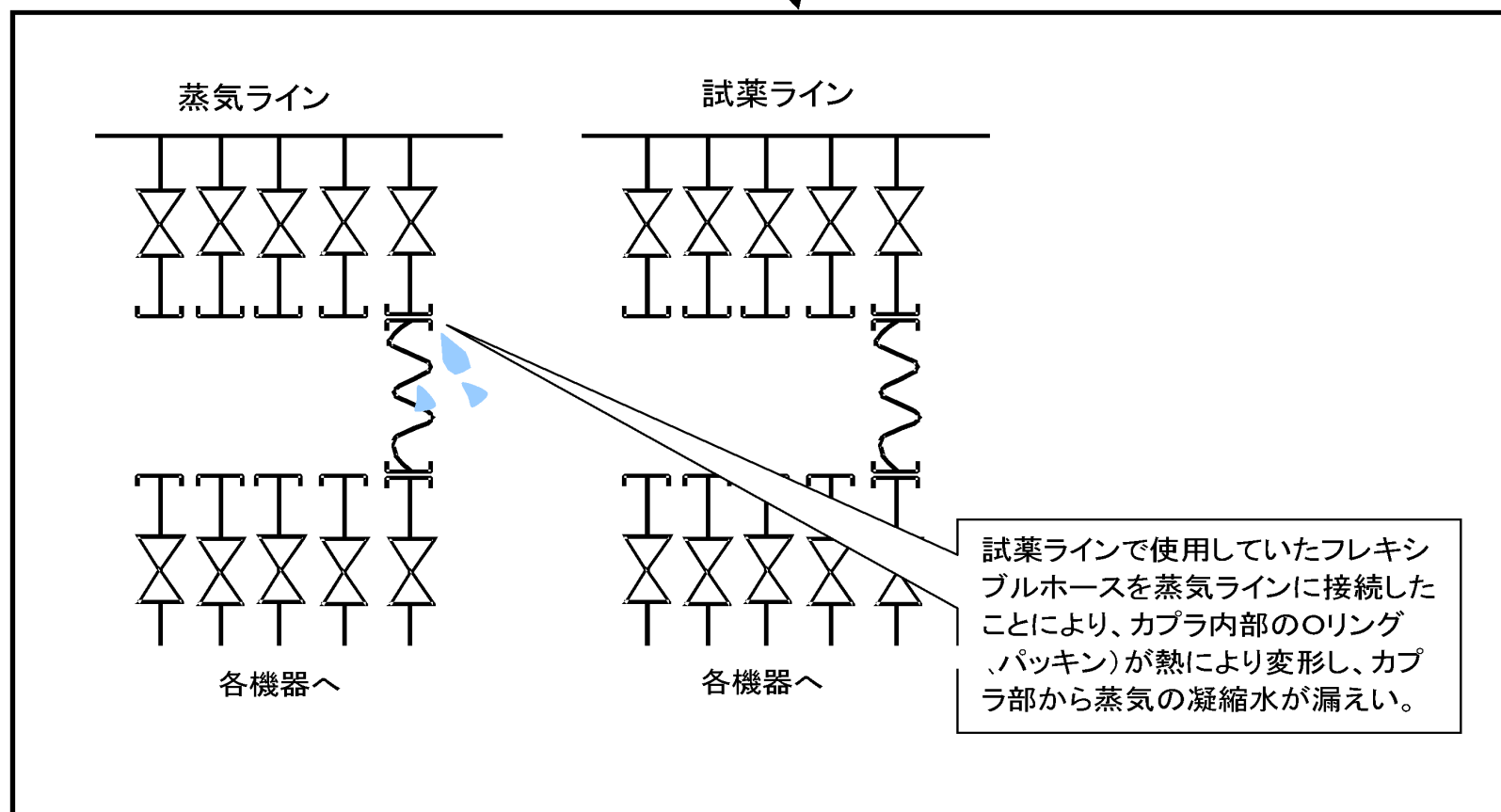
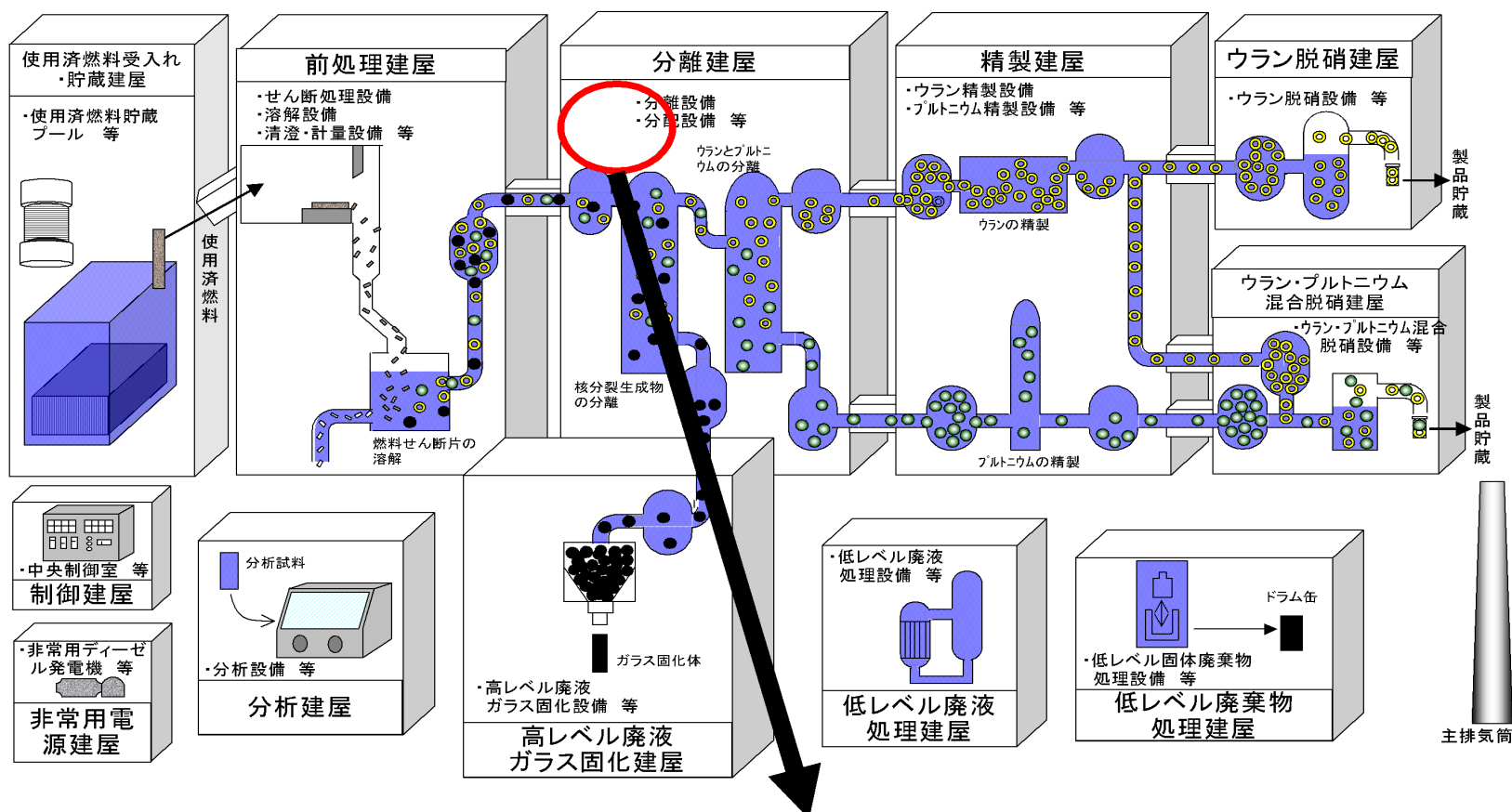
事象分類別（b．漏えい）

2 -09. フレキシブルホースの誤使用によるカプラ部からの漏えい

事象の概要																	
(1)発生場所：機器	分離建屋：除染試薬設備フレキシブルホース																
(2)設備の概要	分離建屋内で、系統内の洗浄に使用する試薬を必要な機器に供給する設備。																
(3)発生の状況	除染試薬設備の運転中																
(4)概要	試薬系統で使用していた着脱式フレキシブルホースを、蒸気を通気する配管に誤って接続したことにより、カプラ（接続器具）の耐熱性を有していないＯリング（パッキン）が熱により変形し、カプラ部から蒸気の凝縮液が数リットル漏えい。漏えい液を回収し、分析した結果、放射性物質は含まれていない（検出限界未満）ことを確認。 ＊他の建屋も含め同種の機器においても同様の事象の発生が予想される。																
(5)原因	着脱式フレキシブルホースを誤接続した。																
事象による影響																	
(1)工場外への影響	工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する分離建屋の換気設備が稼働している室内での事象およびそれに伴う交換作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。なお、本事象で漏えいした液体は非放射性である。																
(2)安全性への影響	安全上の問題は生じない。 漏えい確認後、直ちに当該系統の弁を閉めるとともに、漏えい液を適切に回収することにより、これ以上事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。																
(3)作業員への影響	作業員への影響は生じない。 カプラ部のＯリングの交換作業は、定められた放射線管理計画書に従って作業を進めることにより、放射線による作業員への影響は生じない。																
(4)他工程への影響	他工程への影響は生じない。 フレキシブルホースのカプラ部のＯリングを交換することで、他工程への影響は生じない。																
対応の概要	1.フレキシブルホースの上流側にある弁を閉止し、除染試薬設備用のフレキシブルホースが蒸気を通気する配管で使用したことにより、Ｏリングが変形したことを確認する。 2.フレキシブルホースを取り外し、カプラ部のＯリングを交換する。 3.フレキシブルホースを取り付け、カプラ部からの漏えいがないことを確認する。																
公表区分	毎月集約して月 1 回公表（ホームページへ掲載）																
連絡区分*	<table><tr><th colspan="3">トラブル情報</th><th colspan="3">運転情報</th></tr><tr><td>A 情報</td><td>B 情報</td><td>C 情報</td><td>ごく軽度な機器故障</td><td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td><td>不適合等</td></tr></table>					トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報														
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等												

＊：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

事象概要



復旧方法

消耗品の交換により復旧

トラブル等に伴う設備への影響範囲

運転を継続しながら復旧

付属設備等の故障・不調

